

# まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎26550）までお知らせください。皆さんの情報をお待ちしています!!

## 煙もくもく「くまのこ」

西大路小3年生が炭焼き体験

2月21日（木）、西大路小学校で3年生を対象に炭焼きが行われました。講師に橋本晃一さん（熊野）と山田浩之さん（音羽）を迎え、炭が出来るしくみを学び、炭焼きの窯に木を入れる作業を体験しました。同校では10年ほど前に窯を作り、毎年炭焼きが行われていて、現在の窯は平成17年度に作り直されたものです。橋本さんが「炭焼きは目で煙の色を見て、鼻でにおいをかく」と説明されると、児童たちは窯から出る白い煙に顔を近づけて「いいにおいがする!」と歓声を上げていました。

25日に窯から炭を取り出し、その炭を使って七輪でお餅を焼いて食べました。



▲みんなで木を運び、次々と窯に入れていきます。横穴からも木が見えます。

## 地域ぐるみで元気が出る広報を

広報紙・チラシづくり講座開催

2月23日（土）、日野町中央公民館主催の「楽しい広報紙・チラシづくり講座」が開催され、地区公民館や自治会、各種団体の広報紙担当者が受講されました。元新聞記者である講師の小林宏行さんは、「アイデアとチャレンジで『町全体が元気になる広報紙』を地域ぐるみで作ってください」と呼びかけられました。

後半は、実際に発行された広報紙やチラシを添削指導。見出しのつけ方や写真の向きなど、具体的なアドバイスを聞くことができ、今後の広報紙づくりの参考になったようです。



▶「チャレンジしよう」と語る小林さん

## 迫真の演技を目の前で

南比都佐小で「本物の舞台芸術」を鑑賞

2月29日（金）、南比都佐小学校で劇団キオによる演劇「ソウの休日」が上演され、児童と地域の方が鑑賞されました。これは、文化庁が主催する「本物の舞台芸術体験事業」で、優れた舞台芸術に触れる機会を提供するものです。舞台は、出演者が児童の間を走り回るなど一体感があり、4年生の児童たちが劇中でダンスを共演する場面も。

迫真の演技を目の前で体感した児童たちは、「面白かった」と舞台を満喫した様子。上演後、出演者に演技の質問をしたり、舞台裏や小道具を見せてもらうなどの交流をされました。



▶児童代表の3人が、お礼に花束、日野菜漬、収穫したお米を贈呈



# まちのわだい

## 棧敷窓から見る雛人形めぐり

「日野・ひなまつり紀行」開催

3月1日(土)から3日(月)まで、大塚から村井にかけての一带で「日野・ひなまつり紀行」が開催され、3日間で延べ3,500名の方が訪れました。

日野まちかど感応館(旧正野薬店)、近江日野商人館、商家、商店など59か所の会場で、江戸・明治から昭和に至るまでの各家に伝わる雛人形や、創作人形が飾られました。雛人形は大きさや顔の表情、装飾品がそれぞれ違い、見ているだけで心が華やきます。

訪れた方は、棧敷窓から雛飾りを眺めたり、人形を作った方のお話を聞いたりしながら、「次はどんなお雛様かな?」と、雛人形との出会いを楽しみながら町並みを散策されていました。



▲棧敷窓をのぞくと、家の中に飾られているお雛様が見えます



▲お雛様を飾っている家の前には、竹に乗ったかわいい手作りのお雛さまが…

“ひな・ほい飾り”▶  
お雛様を飾っている家や  
会場の目印です



◀写真撮影用のパネルは子どもに大人気!



▲江戸時代のお雛様(下鍛冶町、山口家)

▶明治から大正、昭和時代のお雛様がたくさん飾られていました(日野まちかど感応館)

